

飢餓の中から

中野鈴子

青空文庫

腹は凹んで皮ばかりのようだ

口はほせからツバも出ない

目はかすんでものが見えぬ

三分作なのに地主はおしかけて来た

来年の年貢をよこせと

そして 手をあわせて拝むわたしらを尻目にか

一粒のこらず かつさらって行つた

毎日毎晩

わたしらは夢中で外へ這い出た

キヨロキヨロになって吹雪の中をかけまわった

木の根をむしった

草の芽をかんだ

見つけ次第

犬猫を殺し奪い合って食った

腹がキリキリした

ゲイゲイ吐いた

いまは 一匹の犬猫も見えぬ

一つの木ノ芽もない

娘らは小娘のからだで女郎に売られて行った
その金は借金取がおさえた

息子らは満州へ×いやられた

たくさんの息子らと一しよに箱づめにされ

そして停車場へかけつけたわたしらを

ホームへも入れなかった

さし出す息子らのかおを押しこめ

汽車の窓を閉じた

わたしらは地面に頭をおしつけて泣きくずれた

じたばた踏んだ

おお もはや

村中には

息子も娘も犬猫も木ノ芽もない

そして

腹がひつついてしまい目が見えぬ

だが

このままではいると思うか

なるほどヒヨウも降った

雨も降り過ぎた

けれども自作農は七分作だぞ

わたしは肥料が買えなかったのだ
去年もおととしも

このままでは

来年もさらいねんもズツとキキンだぞ

おお わたしらの胸は煮えかえる

わたしらを飢えにさらし

戦争を企て……………

そいつらはなにか！

満蒙^{もう}事変とは何か！

わたしらはスツパ抜いたぞ

わたしらは起ち上がる

起ち上がり

奴らを×しかえす

しほりかえす

わたしらは 心をあわせ

打つて一丸となり

奴らめがけて

やり抜いて見せるぞ

ひもじい腹

かすむ目

こごえる寒さ

その中で

わたしの闘志はたぎる

こころ

青空文庫情報

底本：「中野鈴子全詩集」フェニックス出版

1980（昭和55）年4月30日初版発行

初出：「プロレタリア文学 第一巻第五号」

1932（昭和7）年4月25日発行

※初出時の署名は「一田アキ」です。

入力：津村田悟

校正：夏生ぐみ

2018年11月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

飢餓の中から

中野鈴子

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>